

学科試験の問題及び解答についてのお問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください。
なお、合否結果は、2027年2月に発表し、本人に通知いたします。

2026年度 技能検定 ハウスクリーニング職種 学科試験問題

- 問 1. 限られた作業時間の中で、ハウスクリーニング従事者が一定の品質に仕上げられるようにするために、各部位の主体作業時間を定めておくことが重要である。
- 問 2. FRP 製の浴槽は、強化プラスチックであるため、酸性のトイレ用洗剤を使用しても問題はない。
- 問 3. ドアの種類を大きく分けると「開き戸タイプ」と「引き戸タイプ」の2種類に分類される。開き戸は前後に開閉するタイプの戸で、室内用の扉としては最も一般的に使用されている。引き戸は左右にスライドさせるタイプの戸で、前後に開くことはなく左右に開くので狭い空間に好まれる。
- 問 4. 1秒間に繰り返す振動の回数を周波数といい、単位は dB（デシベル）で表す。
- 問 5. ブラインドクリーナーは、窓ガラス表面などに洗剤液を塗布する際に使用する用具で、汚れの拭き取りに使う。
- 問 6. 陰イオン界面活性剤（アニオン界面活性剤）とは、水溶液中でイオンに解離し、この時「プラスイオン」の部分が界面活性剤の働きをするものをいう。石けんや合成洗剤の多くがこのタイプに該当し、洗浄力や泡立ちに優れるものが多い。
- 問 7. 社内の人のことを顧客に話す場合、「後で山田部長からお電話差し上げます」など、丁寧語で話すが良い。
- 問 8. 繊維系床材のクリーニングにおいて、「エクストラクションクリーニング」とは、除塵後、ポリッシャータンクに入れたカーペット用シャンプー洗剤を散布しながら、ブラシまたは綿パッドを装着したポリッシャーで洗浄を行い、次にエクストラクターを用いてすすぎ洗い及び汚水回収を行う手法のことである。
- 問 9. 多目的洗剤は、多用途で使用可能な洗剤で、様々な素材に使用しても問題のないよう中性のものが多く、床面や壁面、ガラスや照明器具など様々な用途に使用される。

- 問 10. リスクアセスメントとは、作業における危険性や有害性を特定し、労働災害や健康障害を生じるおそれの程度を見積り、リスクの低減対策を検討することである。
- 問 11. エアコン用洗剤には「酸性」と「中性」のものがある。「酸性」のものは油脂汚れの洗浄性にやや劣るが、アルミフィンを傷める心配がない。「中性」のものは油脂汚れにも効果が高く洗浄力に優れる。ただしアルミフィンを侵すこともあるので、洗浄後は酸剤による中和や十分なすすぎが必要となる。
- 問 12. 自己サイホン作用とは、多量の排水落下に伴い、枝管に負圧が生じて封水がなくなることを言う。
- 問 13. 顧客の話を聞くときは、アイコンタクトやあいづちを意識すると安心感を与え、心を開きやすくなる。メモを取りながら聞くことで、さらに好印象につながる。
- 問 14. 歩行時に靴底のゴムなどが床面に付着した汚れは、白っぽく見えるものが「ヒールマーク」と呼ばれ、黒く見えるものは「スカッフマーク」と呼ばれ区別されている。
- 問 15. 総務省の住宅・土地統計調査によると、ハウスクリーニングの対象となる全国の総住宅数は、高度経済成長期に比べ 2023 年では約 5 倍以上に増加している。
- 問 16. 熱線吸収ガラスは、ガラス材料に微量の鉄、ニッケル、コバルトなどの金属を加えて着色した板ガラスのことで、日射光線の 20～60%を吸収して室内への射し込みを低下させる等、冷房時負荷の軽減効果がある。
- 問 17. マイクロファイバークロスは、吸着剤と呼ばれる薬品を含浸したクロスで、汚れの掻き取り効果に優れ、吸水性にも優れる。
- 問 18. 除菌用洗剤は、汚れの除去と除菌が同時に行えるものである。主にドアノブや手すりなど人がよく触れる部位は感染経路になりやすいので、そのような部位の除菌清掃として使用される。
- 問 19. 住居内における臭気の 3 大発生源は、「トイレ」「キッチン」「玄関」であり、ペットの臭気も問題となる場合がある。
- 問 20. 現地調査時では、作業内容、作業環境、仕上げ材の確認を行い、損傷の程度等を点検しながら、全体の作業量を把握し、仕様をまとめることが大切である。

- 問 21. 洗剤は効果的に使用できるよう適切な希釈濃度が決められている。不必要に濃くしても十分な効果が発揮できなかったり、場合によっては材質を傷めてしまうこともある。洗剤を希釈する際は、目安ではなく計量容器なども用いて正しく希釈する必要がある。
- 問 22. トイレ洗剤で使用する塩酸は、濃度 10%を超えて含有する場合は劇物に指定されるが、ハウスクリーニング業務の場合は対象とならない。
- 問 23. 高度経済成長期以降、ハウスクリーニングは社会的にも広く認識され普及する中で、ハウスクリーニング事業者の業務形態も、「家事代行」と「ハウスクリーニング」に大きく分化されるようになった。
- 問 24. 30Aと表記されたアンペアブレーカーでは、300W以上の電気製品を使用すると電気が遮断される。
- 問 25. 水アカとは、水道水中のシリカやカルシウム成分が水分の蒸発後に析出したものである。時間が経つと素材表面に結合し除去しにくくなるため、日常的に水滴を残さないように拭き取っておくことで水アカの発生を防ぐことができる。
- 問 26. 1日あたりのハウスクリーニング従事者人数は、各場所、各部位の作業時間の合計を1日あたりの実働時間で割ると算出できる。
- 問 27. ビニル床タイルは、長尺のシート状に製造された高分子系張り床材で、発泡層のないものとあるものがある。
- 問 28. 軍手に比べて強度が強く、伸縮性に優れたものはパワーグローブである。
- 問 29. お客様満足の基本は、「お客様の目線でものを見る」というスタンスであり、顧客の望んでいることを「聴く」姿勢を心がけるようにする。
- 問 30. 石質系素材とは石を使用した素材のことで、石の種類によりその性質は異なり、花崗岩（御影石）であれば比較的硬いためきずや薬品に強い性質を持つが、大理石であれば比較的軟らかいためきずが付きやすく、また酸性の薬品で溶解する性質をもつ。
- 問 31. 床用ワックスには、「樹脂ワックス」「水性ワックス」「油性ワックス」「乳化性ワックス」がある。最も多く使用されているのが、合成樹脂を主成分とした「樹脂ワックス」で、硬い皮膜を形成し、きずや汚れなどへの耐久性に優れる。

- 問 32. 複合フローリングは、亜麻の種子から作られる亜麻仁油、天然レジン（松ヤニ）、木粉、コルク、顔料、裏打ち材のジュート等の天然素材を原料として製造したもので、百数十年の歴史を持っている。
- 問 33. エアコン洗浄では、アルミフィンの汚れを落とすために、高圧洗浄機の圧を高めて使用すると効率的である。
- 問 34. 会社や上司からハウスクリーニング従事者へ気を付けたい心がけとして、各言葉の頭文字をとった「おひたし」がある。
- 問 35. 鉄などの金属に発生するサビなどは素材が腐食し侵されている状態の汚れである。これらを除く場合は水や帯電防止剤を含んだクロスを使用して除去する方法が適している。
- 問 36. 自動床洗浄機は、洗浄液散布、洗浄、汚水回収作業を 1 台で実施できるカーペット用の床洗浄機械である。
- 問 37. 中性洗剤とは、「中性」の性質を持つ洗剤で、研磨剤を主成分とし、これにビルダー（助剤）や溶剤など性能向上剤を加えたものである。建物の素材を傷めにくく、作業への安全面においてメリットがある。
- 問 38. 建物のドアノブや手すりなど、多くの人が手でよく触る部分（高頻度接触面）は、細菌やウイルスで汚染されやすい。これらは目に見えないため、菌やウイルスが対象面に存在することを前提に作業を行うようにする。
- 問 39. 事業者の責務として、事業場規模 5 人以上 10 人未満の場合には、安全衛生推進者の選任が必要である。
- 問 40. 粉状物質（ほこり）は、衣類から発生する綿ほこり、外から風などで持ち込まれる土ほこり、花粉などがある。これらはハタキや静電気ほこり取りで除去する、掃除機で吸い取る、クロスで拭き取るなどの作業により比較的容易に除去ができる。
- 問 41. メラミンスポンジは、ポリエステルやナイロンなどの化学繊維でできた不織布に研磨粒子を固着されて作られた資材で、洗剤の含みもよくこすり洗いしやすい。
- 問 42. 仕事上で知りえた情報や顧客の個人情報、社外に漏らさなければ問題ない。現場でも個人情報を意識的に見たり、聞いたりしないように注意する。

- 問 43. 作業を行うにあたり、調度品など高価なものを移動する場合は、自分達は手を出さずにお客様に移動をお願いする。
- 問 44. ホルムアルデヒドは粒子状物質(POM)とも言われ、揮発性が高い有害物質の一つである。
- 問 45. 汚れの除去方法には、自然に除去する方法と化学的に除去する方法があり、水や洗剤などを用いて汚れを取る方法は「化学的な除去方法」である。
- 問 46. カビ対策で次亜塩素酸ナトリウムを用いる場合は、0.24%に希釈して表面に均一に塗布する。
- 問 47. 作業計画作成のメリットは主に 4 つあり、作業管理の向上、作業改善・作業結果の向上、顧客サービスの向上、責任所在の明確化があげられる。
- 問 48. 居間・リビングルームの作業ポイントとして、ほこりが多い場合は、床の汚れを広げないよう、最初に洗剤散布を行う。
- 問 49. 燃焼法による繊維の識別方法によると、ナイロンはちぢれながらくすぶるようにゆっくりと燃え、髪の毛を焼く臭いがする。ウールは収縮・溶解しながら徐々に燃え炎を離すと燃え続けず、灰は硬い塊が残る。
- 問 50. 鉄筋コンクリート造は耐震性に優れているが、横揺れには弱いというデメリットがある。

学科試験の問題及び解答についてのお問い合わせには一切お答えできませんので予めご了承ください。
なお、合否結果は 2027 年 2 月に発表し、本人に通知いたします。

2026 年度 技能検定 ハウスクリーニング職種 学科試験解答

問題	解答
問 1	誤
問 2	誤
問 3	正
問 4	誤
問 5	誤
問 6	誤
問 7	誤
問 8	誤
問 9	正
問 10	正

問題	解答
問 11	誤
問 12	誤
問 13	正
問 14	誤
問 15	誤
問 16	正
問 17	誤
問 18	正
問 19	誤
問 20	正

問題	解答
問 21	正
問 22	誤
問 23	正
問 24	誤
問 25	正
問 26	正
問 27	誤
問 28	正
問 29	正
問 30	正

問題	解答
問 31	正
問 32	誤
問 33	誤
問 34	正
問 35	誤
問 36	誤
問 37	誤
問 38	正
問 39	誤
問 40	正

問題	解答
問 41	誤
問 42	誤
問 43	正
問 44	誤
問 45	誤
問 46	正
問 47	誤
問 48	誤
問 49	誤
問 50	誤